



## ラストスパート 制度推進に最後まで全力疾走！

茨城県行政書士会

会長 國井 豊

今年も早いもので師走、年明けが間近に迫ってまいりました。皆さん、いかがお過ごしですか。つね日頃から会運営をはじめ行政書士制度の推進に、力強いご理解ご協力を賜り深謝いたしております。また、台風等の天災によって被災された皆さんに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧復興を願うばかりです。最近の災害はこれまでの概念や経験則をはるかに超え、広範囲にわたってきわめて甚大な被害をもたらします。テレビから流される映像には誰もが恐怖と戦慄を覚えます。はたして100年に一度の災害との表現は本当に正鵠を射ているのでしょうか。毎年毎年大きな爪痕を残す災害の発生を見るに、きわめて懐疑的と成らざるを得ません。また、誰もがより以上の発生確率を予見しているようにも思えます。こうした現状から、国民や社会から期待される会や行政書士の役割は明白であり、これまでの経験や実績を踏まえしっかり応えていかなければなりません。

今回の災害に際し、いち早く災害対策本部を立ち上げそれぞれ担当を配置し、支部との連携により具体的な対応に着手いたしました。一つには、会員の安否確認と現状の把握です。幸いにして人的被害はありませんでしたが、大子町の会員事務所等が床上浸水に見舞われました。復興へ向けた可能な限りの支援をしてみたいと思います。二つ目は電話による被災者相談センターの立上げです。後述する相談員の派遣と併せ、常総市や境町での経験をもとにスタートいたしました。県内全域から多くの皆さんにご協力をいただき、11月20日現在も稼働中です。三つ目は行政への相談員の派遣です。水戸市と大子町への派遣を実施いたしました。結果として水戸市飯富市民センターへ10月25日から11月

9日までの16日間、大子町災害対策本部へは10月30日に行い、それぞれ期待された役割を担うことが出来ました。

最終的な総括は災対本部を解散したのちに行いますが、さらなる飛躍に繋がる地歩固めとなったことや、解決すべき様々な課題もみえてきました。最も重要な会員の現状把握は、支部長の迅速な対応が功を奏しました。相談員の派遣等々と併せ、支部会員との強い信頼関係がみえました。一方、罹災証明書や自動車廃車手続き等々相談員派遣や電話相談に関し、早期の対応を求める声もありました。当然の指摘であり、協定締結自治体との災害時におけるスキームの構築を着実に行ってまいります。もちろん、その際には職員の皆さんと信頼関係を築き、制度の周知徹底を図りたいと思います。

制度の性質上、初期の段階で出動しにくいこと、新聞広告欄や災害電話番号の取得がこちらの希望通りいかないこと等々、物理的な困難さも数多くみられました。さらに、研修のハードルを課し構築した災害相談員体制の稼働が、必ずしも十分とはいえなかったこと、対応にあたった相談員に過重な負担をかけたこと等、早期に改善すべき点もありました。ご協力いただきましたすべての皆さんに感謝しつつ、一つひとつ十分な検証を行うことで、制度に期待される社会貢献を引き続き担ってみたいと思います。

県内各地で展開した制度広報月間への対応や試験協力が大きな成果を得て終えることができました。重ねて感謝御礼申し上げます。この勢いで気忙しい師走を乗り切り、それぞれに輝かしい新春をお迎えいただければ幸甚です。最後になりますが、時節柄ご自愛ご活躍をお祈りいたします。感謝合掌...